

こどもエコすまい支援事業

ZEHレベルの新築、ZEHや省エネ基準レベルのリフォームで補助金がもらえます

新築
100万円
/戸

リフォーム
最大30万円
/戸
特例あり

新築 ZEHレベルの新築

対象となる方

子育て世帯（2004年4月2日以降に出生した子を有する世帯） または、
若者夫婦世帯（夫婦のいずれかが、1982年4月2日以降生まれた世帯）



対象となる期間

基礎工事の完了（工事の出来高） 建築着工～交付申請まで（遅くとも2023年12月31日）
基礎工事より後の工程の工事への着手 令和4年11月8日以降（工事請負契約後に行われる工事であること）
交付申請 2023年3月下旬～予算上限に達するまで（遅くとも2023年12月31日まで）

対象住宅と補助額

対象住宅	補助額								
証明書等により、高い断熱性能（ZEHレベル）を有することを確認できる住宅 ＝ 強化外皮基準かつ再エネを除く一次エネルギー消費量▲ 20%に適合するもの ■強化外皮基準：外皮平均熱貫流率（U_A値）が下記以下 <table><tr><td>地域区分</td><td>1, 2</td><td>3</td><td>4, 5, 6, 7</td></tr><tr><td>外皮平均熱貫流率 U_A [W/(㎡・K)]</td><td>0.4</td><td>0.5</td><td>0.6</td></tr></table> ・ BELS 評価書に記載される「ZEH」「ZEH-M」「ZEH Oriented」「ZEH-M Oriented」「ZEH Ready」「ZEH-M Ready」「Nearly ZEH」「Nearly ZEH-M」は対象。 ・ 2022年10月1日以降に新基準で認定申請した「認定長期優良住宅」「認定低炭素住宅」「性能向上計画認定住宅」は対象。 ・ BELS評価書でZEHマークの記載があるもの、または2022年4月1日以降は住宅性能評価書で「断熱等級5かつ一次エネルギー等級6」の記載があるものは対象。	地域区分	1, 2	3	4, 5, 6, 7	外皮平均熱貫流率 U_A [W/(㎡・K)]	0.4	0.5	0.6	100万円 /戸
地域区分	1, 2	3	4, 5, 6, 7						
外皮平均熱貫流率 U_A [W/(㎡・K)]	0.4	0.5	0.6						

アースウールを使った強化外皮基準、断熱等級5 適合の仕様例

《4, 5, 6, 7地域 の 木造軸組住宅 の場合》

単位：熱抵抗R [$m^2 \cdot K/W$]、熱貫流率U [$W/(m^2 \cdot K)$]

天井 アースウール16K155mm（熱抵抗値R4.1）

壁 アースウール16K105mm（熱抵抗値R2.8）

床 熱抵抗値R2.2以上の断熱材 例）押出法ポリスチレンフォーム3種 b A65mm.等

土間(玄関・浴室) 熱抵抗値1.7以上の断熱材 例）押出法ポリスチレンフォーム3種 b A50mm.等

窓 熱貫流率U2.33以下 例）アルミ樹脂複合サッシ+Low-E複層ガラス等

ドア 熱貫流率U2.33以下

■ 上記は外皮性能基準適合の一例です。適合については当該住宅の外皮性能計算でご確認ください。

■ 対象住宅となるには、断熱性能の向上に加え省エネ設備採用による一次エネルギー消費量削減率への適合が必要です。

申請は、建築事業者・施工事業者等が行います。 各事業者は事前に事業者登録が必要です。
申請方法、制度の詳細については、「こどもエコすまい支援事業専用サイト」をご参照ください。
<https://kodomo-ecosumai.mlit.go.jp/>

こどもエコすまい支援事業

リフォーム ZEHレベル・省エネ基準レベルへのリフォーム

対象となる方

リフォームをする住宅の所有者（持家、賃貸）

子育て・若夫婦以外も対象です



対象となる期間

着工費の期間 2022年11月8日～交付申請まで（遅くとも2023年12月31日）

交付申請 2023年3月下旬～予算上限に達するまで（遅くとも2023年12月31日まで）

対象住宅と補助額

対象など		補助額
必須 ①②③いずれか	①開口部（窓・ドア）の断熱改修 ②外壁、屋根、天井または床の断熱改修 ③エコ住宅設備の設置	最大 30万円/戸 ※特例により 最大60万円または 45万円
任意 ①②③いずれかと同 時行う場合のみ	④子育て対応改修 ⑤防災性向上改修 ⑥バリアフリー改修 ⑦空気清浄機能・換気機能付きエアコンの設置 ⑧リフォーム瑕疵保険等への加入	

外壁、屋根、天井または床の一戸あたりの補助額 （ ）内は部分断熱改修のとき

分類	外壁	屋根・天井	床
省エネ基準レベル	112,000円（56,000円）	40,000円（20,000円）	69,000円（34,000円）
ZEHレベル	151,000円（75,000円）	54,000円（27,000円）	92,000円（46,000円）

外壁、屋根、天井または床の断熱改修では、
部位ごとに当事業の事務局に登録された断熱材を一定量の体積分使うことが条件です。
アースウールも10K、16K、24K品を登録済みです。



一戸当たり断熱材最低使用量 一戸建ての場合 （ ）内は部分断熱改修のとき

分類	部位	断熱材最低使用量 体積[m³] 《熱伝導率0.052～0.035 の断熱材の場合》	アースウールを施工した場合の例	
				必要な 施工面積の目安 [m²]
省エネ基準レベル	天井・屋根	6.0 (3.0)	16K155mm	約39 (約20)
			10K100mmx2層 (計200mm厚施工)	約30 (約15)
	外壁	6.0 (3.0)	16K105mm	約58 (約29)
			16K 90mm	約67 (約34)
ZEHレベル	天井・屋根	12.0 (6.0)	10K100mm	約60 (約30)
			16K155mm	約78 (約39)
	外壁	11.0 (5.5)	16K105mm	約105 (約53)

※ 「床」にも断熱材の使用量が設定されています。「こどもエコすまい支援事専用サイト」をご覧ください。

申請は、建築事業者・施工事業者等が行います。各事業者は事前に事業者登録が必要です。
リフォーム対象建材の登録製品、申請方法、制度の詳細は「こどもエコすまい支援事専用サイト」に掲載されています。
<https://kodomo-ecosumai.mlit.go.jp/>